

令和8年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価

建学の精神		女性の自律・自主と先度他の心の涵養		
教育目標		白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。		
本年度の重点目標		①積極的な情報発信 ②危機管理意識の高揚 ③生きる力の育成 ④社会生活に適應する力の育成 ⑤自己管理の育成 ⑥第一志望校を目指す指導		
重点目標	評価項目	(1) 具体的方策 (2) 評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
①積極的な情報発信	SNSの活用	(1) 具体的方策 インスタグラムでの情報発信を中心に、積極的な情報発信に努める。		
		(2) 具体的指標 インスタグラムの投稿数が年間100回以上となることを目標にする。 100回以上 … A 75回以上 … B 75回未満 … C		
②危機管理意識の高揚	体験型防災訓練・不審者対策防犯訓練の実施	(1) 具体的方策 体験型防災訓練及び不審者対策防犯訓練を実施し、生徒及び職員の危機管理意識を高める。		
		(2) 具体的指標 防災訓練及び防犯訓練後にアンケートを実施し、「役に立った」と感じる生徒・職員が90%以上を目標にする。 90%以上 … A 80%以上 … B 80%未満 … C		
③生きる力の育成	ICTを活用した主体的な学びの推進	(1) 具体的方策 生徒が授業内でスマホ・タブレットを活用し、調べ学習・意見共有・課題解決等に主体的に取り組む機会を設ける。		
		(2) 具体的指標 スマホ・タブレットの活用が授業の理解や学習効率の向上に役立ったと回答した生徒が 7割以上 … A 5割以上 … B 5割未満 … C		
③生きる力の育成	キャリア教育の充実	(1) 具体的方策 総合的な探究の時間を通して、生徒が自己の興味・関心や価値観を踏まえて課題を設定し、探究活動と振り返りを繰り返すことで、自己理解を深めるとともに、進路選択や将来のキャリア形成につなげる。		
		(2) 具体的指標 総合的な探究の時間の活動が進路選択に役立ったと回答した生徒が 7割以上 … A 5割以上 … B 5割未満 … C		

重点目標	評価項目	(1) 具体的方策 (2) 評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
④社会生活に適應する力の育成	「清楚・芳香・忍耐」の理解と実践	<p>(1) 具体的方策 白梅精神に基づく教育目標「清楚・芳香・忍耐」の意味を理解させ、生徒一人ひとりが意欲的に取り組むことができるよう、初期指導やHRで目標を設定させる。</p> <p>(2) 具体的指標 学期終了時に「Fujieda junshin check」で振り返りを行う。「よくできた」「できた」「あまりできなかった」で自己評価し、「よくできた」「できた」と評価する生徒が、 7割以上 … A 5割以上7割未満 … B 5割未満 … C</p>		
	違反行為、問題行動の防止と指導	<p>(1) 具体的方策 違反行為や問題行動は1報で情報共有し、生徒課会議において、指導方針を協議し、校長の指示を仰ぎ実施する。</p> <p>(2) 具体的指標 生徒全員が安心・安全な校内生活を送れることを目指す。違反行為や問題行動を未然に防ぐように校則の確認をHRや長期休業前に必ず行い、規範意識の向上を目指す。 謹慎以上8件以内戒告20件以内 : A 謹慎以上15件以内戒告30件以内 : B 謹慎以上16件以上、戒告31件以上 : C</p>		
⑤自己管理の育成	健康相談の充実と情報共有	<p>(1) 具体的方策 健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。担任等と情報共有、必要に応じスクールカウンセラーとの連絡を密に行い、生徒の学校生活がよりよいものとなるようにする。</p> <p>(2) 具体的指標 学期終了時に生徒課の反省表「教育相談項目」にて、教員（スクールカウンセラー含）に相談できる生徒が 50%以上 … A 20%以上50%未満 … B 20%未満 … C</p>		

重点目標	評価項目	(1) 具体的方策 (2) 評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
⑥第一志望校を目指す指導	【進学】 実績の向上 & 学力の向上	<p>(1) 具体的方策</p> <p>ア チューター制指導・看護医療系対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文と面接（志望理由書）で担当を分ける。 ・小論文は得意分野を担当する。 ・指定校推薦の大学及び短大・専門学校は原則として担当が指導。 ・高3は4月から時事問題に興味関心を持たせるノート作り。 ・看護専門学校志望者に看護模試を受験させる。（年2回） ・看護志望者には1日ナース体験に参加させる。 <p>イ 学力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特進クラスは共通テスト対策を授業中に10分間実施。定期試験にも含める。（主要5教科） ・模試対策として各教科で絶対に落とせない問題をピックアップし授業で扱い定期試験に含める。 ・スタディサプリ英検講座全校共通版を配布し、クラス単位で受験級に応じた課題配信及び提出確認。 <p>(2) 具体的指標</p> <p>ア（国公立大学＋中堅私立大学＋看護専門学校への合格者数）が（四年制大学＋看護専門学校への合格者数）の30%以上となるようにする。 （中堅私大とは河合塾全国偏差値47.5以上の大学とする。）国公立大学に5名以上、中堅以上の私大に10名以上合格させる。（中堅私大とは河合塾全国偏差値47.5以上の大学とする。）</p> <p>イ-1 模試で全国平均を超える教科が、総進はクラス人数の30%以上・特進は50%以上ある。</p> <p>イ-2 英検準2級以上の取得者(高校生)または大学入試出願可能なスコア取得者(高3)が進学希望者の15%以上いる。</p> <p>達成率 100% … A 達成率 66.6% … B 達成率 33.3% … C</p>		
	【就職】 「自分で選んで就職先を決めた」と実感できる指導	<p>(1) 具体的方策</p> <p>ア 生徒への企業情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月 校外で実施される企業説明会への参加を呼びかける。 5月 企業との情報交換会で得た資料を生徒に提供する。 6月 オンライン企業説明会を学校で視聴させる。 <p>イ 求人票を初日からWeb上にアップ</p> <p>(2) 具体的指標</p> <p>ア アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内定者へ実施する。 ・生徒への情報提供及び指導内容、生徒自身の就職活動に満足しているか10項目の内容とする。 <p>イ 判定方法</p> <p>アンケートで就職先を自分で選んだと実感できた生徒が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100%、かつ内定先を自分で選んで受験を決めたかの質問に全員が「自分で決めた」と回答した場合 … A ・80%以上 … B ・80%未満 … C 		